



SN0116



富士通製サーバ「SPARC Enterprise T2000」と

ATEN Over IP シリアルコンソールスイッチの接続検証結果報告書

ATEN ジャパン株式会社
技術サポート部

1. 検証概要

SPARC Enterprise T2000 にシリアルインターフェイス接続にて ATEN/ALTUSEN IP リモート対応シリアルコンソールスイッチと動作検証を実施致しました。

2. 検証期間

2007年7月26日～8月3日

2007年9月3日～9月14日

3. 検証装置

型番	概要
SN0108 / SN0116	8 or 16ポート Over IP シリアルコンソールスイッチ

4. サーバ構成

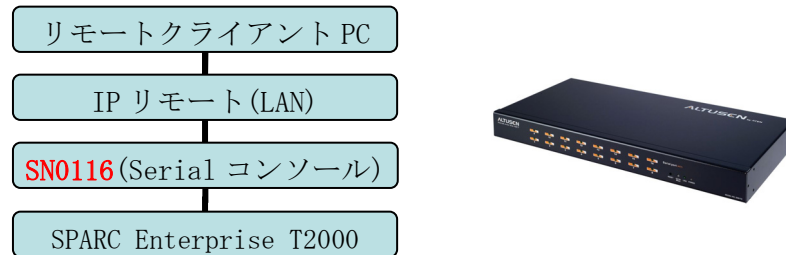
型番	OS
SPARC Enterprise T2000	Solaris 10 OS

5. 検証項目

- A) SN0116 の Web ブラウザー内の Telnet/SSH 機能を使い IP リモートから動作確認
- B) SN0116 の Raw TCP Mode 機能を使い IP リモートから動作確認
- C) SN0116 の Real COM Port 機能を使い IP リモートから動作確認

6. 構成図

SN0116 構成例



7. 接続方法

- リモートクライアントとして使用する Windows ベースの PC をローカル LAN に接続します。
SN0116 も同ローカル LAN に接続します。
※SPARC Enterprise T2000 は別のネットワークで運用可能ですが、今回は同 LAN 内に設置し、リモートエミュレータソフト FUJITSU PC-X でも動作確認を行いました。
- SN0116 と SPARC Enterprise T2000 は、A/LOM ポートに対して T2000 用のケーブルと SN0116 のシリアルケーブルを接続します。

8. 検証結果

A) SN0116 の Web ブラウザー内の Telnet/SSH 機能を使い IP リモートから動作確認
SN0116 に対して Web ブラウザー経由でログイン後は、独自 GUI 画面より Telnet/SSH 画面を表示することができます。

他の Telnet/SSH ソフトと同じことが、IP リモート経由の操作画面から可能となることを確認致しました。

B) SN0116 の Raw TCP Mode 機能を使い IP リモートから動作確認
SN0116 に対して Raw TCP Mode を使う場合は Web ブラウザの GUI 画面からのログインは必要ありません。Telnet/SSH ソフトから直接 IP リモート経由で T2000 に対して操作が可能になります。確認には Tera Term を使用しましたが、Telnet/SSH で直接アクセスしているのと、IP リモート経由からのアクセス時では違いなく操作可能であることを確認致しました。

C) SN0116 の Real COM Port 機能を使い IP リモートから動作確認
SN0116 に対して Real COM Port を使う場合は Web ブラウザの GUI 画面からのログインは必要ありません。

この機能を利用するには、クライアント PC に対して SN0116 同梱のソフトウェアをインストールし、バーチャル COM ポートを作成します。これにより利用される PC のローカルに存在する COM ポートに対する操作と同じことが可能になります。確認には Windows 標準のハイパーターミナルを使用しま

したが、IP リモート経由で、ローカル COM ポートと同じように操作が可能であることを確認致しました。

※上記 A), B), C) の操作確認として、リモートエミュレータソフト FUJITSU PC-X から動作していることを確認いたしました。

※上記 A), B), C) の操作確認として、ローカルエリアネットワークでの確認でしたが、同じことはインターネット経由でも可能となります。

お問い合わせ先

ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-16-6 タツミビル 8F

Tel: 03-5323-7170 Fax: 03-5323-2181 Email: support@atenjapan.jp URL: www.atenjapan.jp